

2024年JAF四国ダートトライアル選手権第5戦

2024年JMRC四国ダートトライアルシリーズ第5戦

復活！エトワールスーパーダートトライアル2024

主催：チーム.エトワール（ETOILE）

開催日：令和6年8月11日

場所：テクニクスステージタカタ

レポート：JMRC四国 広報部会

久々のタカタでの四国最終戦！ 四国選手は残念ながら金メダルを持ち帰れず 混戦のSD1クラスは萩原豪選手が2位でチャンピオンを決める

JAF四国ダートトライアル選手権の最終戦（第5戦）が、2018年以来6年振りとなる広島県のテクニクスステージタカタで開催された。他地区選手が8選手参加してくれたお陰で、CL（クローズド）の1選手を含めた参加選手は、今シーズン最多となる24選手。しかも、クローズドクラスで参加したのは高知県出身の全日本トップドライバー細木智矢選手で、土手に乗り上げたと言いつつもオーバーオールを披露してイベントを盛り上げてくれた。ただ、残念ながら、今回、Nクラスは不成立となった。

PN+クラスには第2戦を制したラリーストの松原久選手が参戦。その松原選手、第1ヒートはトップタイムをマークしたものの路面の砂利が飛び、タイムアップ傾向となる第2ヒートは車両トラブルでリタイヤとなり、第2ヒートでタイムアップを果たした近畿の大野吉弘選手が優勝。そして、2位には池田善久選手が入り、松原選手は3位に終わった。

唯一、チャンピオンの決まっていないSD1クラス。前戦終了時点では第1戦を制し、既に有効を埋めている田川知明選手がリードし、萩原豪選手、谷芳紀選手が追う展開で、この3選手にチャンピオンの可能性が残っており、優勝した選手がチャンピオン獲得という状況。しかし、この3選手を上回り、第1ヒートトップに立ったのは全日本チャンピオン経験もある中国地区の夏明成己選手。夏明選手は第2ヒートも順調にタイムアップを果たし、優勝。萩原選手は2位、谷選手は4位、田川選手は6位となった。結果、シリーズチャンピオンは、3選手の中で最上位となった萩原選手が獲得。谷選手が2位、田川選手が3位でシリーズを終えることとなった。

最多となる10選手が参加したSD2クラスには中国地区戦で上位争いをしている清岡毅選手が参加。その清岡選手を既にチャンピオンを決めている谷正史選手、中国地区戦にも積極的に参戦して腕を磨いているシリーズ2位の豊田薫選手、そして、身体のメンテナンスが一段落した昨年のチャンピオン梶田昌弘選手が迎え撃つ構図となった。しかし、谷選手はミスコースからのスタート、梶田選手も本調子ではなく、結果、清岡選手が実力を発揮して優勝、2位に豊田選手、3位が谷選手、梶田選手は4位となった。



PN+クラス優勝の大野吉弘選手



PN+クラス2位の池田善久選手



PN+クラス 3位の松原久選手



PN+クラス 4位の西岡章夫選手



SD1クラス優勝の夏明成己選手



SD1クラス 2位の萩原豪選手



SD1クラス 3位の丸本淳二選手



SD1クラス 4位の谷芳紀選手



SD2クラス優勝の清岡毅選手



SD2クラス 2位の豊田薫選手



SD2クラス 3位の谷正史選手



SD2クラス 4位の梶田昌弘選手



CLクラスの細木智矢選手



PN+クラス表彰状況



SD1クラス表彰状況



SD2クラス表彰状況